

平成23年度

予算概要

総額296億3,019万円のまちづくり

総額は前年度比2.2%減

平成23年度予算は、一般会計が194億7,500万円（前年度比2.6%減）、特別会計6会計の合計が96億7,590万円（同比0.7%増）、企業会計2会計の合計が4億7,929万円（同比31.0%減）となり、総額は296億3,019万円（同比2.2%減）となりました。

歳入の見込み

市税は景気の低迷等により市民税等の大幅な回復が見込めないため、昨年度並みの24億5,897万円を見込んでいます。

地方交付税は、地域活性化・雇用等対策費が増額されることにより、前年度より1億円

の増を見込んでいます。

歳出の見込み

「建設事業」

主要建設事業審査に基づき「火葬場整備事業」「南但ごみ処理施設建設」「関宮中学校耐震化事業」など喫緊の課題である事業とその他優先度の高い事業を実施します。

対前年度で1億998万円の減額となっています。

「職員数」

一般職員の人数は、380人となり定員適正化計画における平成23年度の職員数390人より10人少ない人数となります。

「給与などの減額」

▼市議会議員Ⅱ期末手当0.2カ月減

▼市長・副市長・教育長Ⅱ期

末勤手当0.2カ月減

▼一般職員Ⅱ0.1%の減（給料表の改定のため）、55歳以上の管理職の給料・手当で1.5%減、期末勤手当0.2カ月減

「経常経費の削減」

事務事業評価により事務事業を徹底して見直し、その結果を予算編成に反映し、経常経費の削減を進めています。

市債残高・基金残高の見込み

「市債残高の見込み」

平成23年度末の市債残高は504億7,548万円と、前年度末に比べて26億2,074万円減少する見込みです。

市債残高を市民1人当たり換算すると約185万円となります。（平成23年4月1日

「基金残高の見込み」

平成23年度末の基金残高は66億2,067万円となる見込みです。基金残高を市民1人当たり換算すると約24万円となります。（平成23年4月1日現在人口で計算）

現在人口27,326人で計算）

◆各会計予算額

会計名	予算額	前年度との比較
一般会計	194億7,500万円	△5億1,300万円
特別会計	国民健康保険特別会計	33億5,460万円 2,930万円
	養父歯科診療所特別会計	5,300万円 90万円
	後期高齢者医療特別会計	3億6,800万円 △600万円
	老人保健特別会計	0万円(廃止) △100万円
	介護保険特別会計	34億600万円 9,780万円
	簡易水道事業特別会計	9億8,430万円 3,470万円
	下水道事業特別会計	15億1,000万円 △8,440万円
計	96億7,590万円	7,130万円
企業会計	水道事業会計	3億5,128万円 △2億223万円
	氷ノ山国際スキー場事業特別会計	1億2,801万円 △1,326万円
	計	4億7,929万円 △2億1,548万円
合計	296億3,019万円	△6億5,718万円

◆基金の状況

基金区分	平成23年度末 残高見込み
財政調整基金	19億6,204万円
減債基金	5億9,097万円
特定目的基金	31億5,544万円
その他基金	9億1,222万円
合計	66億2,067万円